



令和7年度 富山発達障害研究会 症例検討会・情報交換会



成人期に一人暮らしをするためには、コミュニケーション、身辺自立や家事、金銭管理といった日常生活スキル、自己統制や困難への対処といった社会生活スキルなどさまざまな社会生活能力が要求されます。成人期に不足している社会生活能力を親が補っていることも多く、親なき後の生活準備も十分とはいえない状況と思われます。

今年度、富山発達障害研究会では、発達障害児・者の親なき後の生活に対してどのように備えておくべきか、参加者の皆様と考えていきたいと思えます。

日時：令和7年11月30日（日）14:00～16:30

会場：富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内
地域リハビリホール

発達障害児・者の生活を考える ～親なき後までを踏まえて～

（14:00～14:10）

開会あいさつ 森 昭憲氏 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
企画説明・司会 山下委希子氏 富山県公認心理師協会

第1部（14:10～15:10）

I. 「障害者の自立とは」

宮 一志氏 富山大学教育学部

II. 「成人期の生活を支える福祉サービス」

岡本 久子氏 社会福祉法人くるみ

III. 「自立して生きるとは ～発達特徴がある中で自分らしく生きるということ～」

水野 カオル氏 一般社団法人Ponteとやま

第2部（15:15～16:30）

「事例検討」

森 昭憲氏 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

閉会・まとめ 榎戸 芙佐子氏 医療法人社団 和敬会 谷野呉山病院

参加対象：発達障がい児・者の支援者（公的民間は問いませんが守秘義務を負える方）

会場定員：80名

参加費：1000円 当日受付でお支払いください。（参加の事前登録をPeatixでお願いします）

主催：富山発達障害研究会 [代表：森 昭憲（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、副代表：宮一志（富山大学教育学部）]

後援：富山県、富山県教育委員会

会場：富山県リハビリテーション病院こども支援センター内 地域リハビリホール

（以下の地図をご参照ください）

【Peatixによる参加登録方法】（11月1日より登録可能です）

※参加申し込みは、11月25日（火）22時をもって締め切ります。

本研究会は、Peatixによる参加登録が必要です。

<https://toyama-hattatsu.peatix.com/view>



パソコン、もしくはスマートフォンより、上記アドレス、もしくはQRコードにアクセスして参加登録をお願いします。

参加登録にあたってPeatixのアカウントが必要です。初めての方は、Peatixの新規アカウントの作成（お名前、メールアドレス※、パスワード）をお願いいたします。

【開催場所のご案内】

